１０．京都市紫野障害者授産所の管理運営

１．生活介護事業「菜の花」

（１）総括

令和７年度は、利用者の主体性を尊重した意思決定支援と、専門機関との連携による身体機能維持に注力した年度であった。稼働率は年度前半に目標の 90%を大きく上回る月が見られたものの、冬期の感染症や利用者の退所・施設移行に伴い、年度後半に低下する傾向があった。一方で、自閉症支援講習や視覚的支援の改良を通じた環境整備は着実に進み、利用者が落ち着いて過ごせる環境が整いつつある。また、多機能型事業所としての強みを活かし、就労継続支援Ｂ型「さくさく工房」との相互利用や交流も活発に行われた。

（２）職員体制（令和７年度末現在）

所長１名、サービス管理責任者１名（所長兼務）、生活支援員名（正職員１名、非常勤職員３名）、看護職員１名（嘱託職員）、医師１名（外部嘱託医）

年度途中に正規の生活支援員２名のうち１名が退職し、欠員を補充することができなかった。下半期は人員配置が不安定な中、就労継続支援Ｂ型と協力しながら事業を運営した。

（３）利用者の状況（令和７年度末現在）

主に身体に障害のある 18 歳以上の市民を対象とし、定員６名（3 月末現員９名）で運営した。5 月に就労継続支援Ｂ型「さくさく工房」より１名の並行利用を受け入れ、6 月には週 5 日通所の新たな利用者を受け入れた。送迎は北区及び上京区の指定範囲内等で行った。年度を通じて利用者の体調不良や環境移行による欠席・退所があり、月間稼働率は 72.2%から 108.3%の間で推移した（平均稼働率 97.9 %、目標稼働率 90.0%達成）。

①　在籍人数

定員６名　　現員８名（年度内契約者２名、契約解除者１名）
一日の利用人数 4.5 名（開所日 242 日　利用延べ人数 1424 人　稼働率 97.9 %）

②　年齢別人数（平均年齢　40.6 歳）

20 未満	30 未満	40 未満	50 未満	60 未満	60 以上	計
0	2	2	1	3	0	8

③　支援区分（平均区分 5.5）

区分２	区分３	区分４	区分５	区分６	計
0	0	1	3	4	8

④　障害状況

身体障害者手帳	１級	２級	３級	４級	５級	無	計
	2	0	1	1	1	3	8

療育手帳	A	B	計
	7	0	7※

※療育手帳なし１名

⑤　居住区別人数

北	上京	中京	右京	左京	計
3	3	0	1	1	8

（4）　重点方針及び事業内容 取組結果

①　生活介護事業の安定した運営

ア　毎月 90～100%の稼働率維持

5 月から 10 月にかけては 90%以上を維持し、9 月には 108.3%を記録したが、4 月（84.1%）や、感染症及び施設移行が重なった 11 月から 3 月は目標を下回った。

送迎ルートの見直しを適宜実施した。

イ　個別支援計画に基づく支援

体力維持のための近隣丘陵散歩や、利用者自らが下調べ、選定したショッピングセンターへの一日外出など、個々の目標に沿った支援を展開した。

ウ　関係機関との連携による自立支援

1 名の利用者の「ふれあいの里療護園」への入所移行（3 月）に向けた調整を円滑に行った。

エ　多機能事業所としての交流促進

昼食時の交流や合同歓迎会、「さくさく工房」・「菜の花」合同企画（忘年会や年度末お疲れさん会）などを通じ、事業所全体での交流を深めた。

オ　「さくさく工房」との相互利用

「さくさく工房」から「菜の花」への利用者の受け入れを開始したほか、「菜の花」利用者の「『さくさく工房』で仕事体験をしたい」という希望に基づき、せんべいの検品・袋詰め作業を体験した。

カ　新設備や店舗、前庭の活用

倉庫の物品を整理し、作業室として整備を進めていたが、活用には至っていない。「さくさく工房」の利用者の個別対応で相談室を使用しているため、相談室の代用としての機能にとどまっている。店舗では自主製品展示・販売を継続実施した。前庭は不安定な地面の整備が年度末に完成となったため、活用は次年度以降となった。

店舗前庭の愛称を決める際は利用者からのアイデアを募集した。

②　利用者支援の充実

ア　健康管理と感染予防

嘱託医による健康相談を定期実施し、昨年度に引き続きクイズ形式での感染症対策や熱中症予防の指導を行った。

京都府歯科医師会による「京都市障害児者出張歯科健診事業」を利用し、利用者の口腔内の状況を把握した。

イ　生産活動と商品開発

ビーズ製品、フェルト製品等の制作を行い、リニューアルした店舗や出店等で販売した。利用者には毎月定額の支給金を支給したが、賞与を支給するまでの売り上げには至らなかった。

ウ　創造的活動と専門講師の招へい

臨床美術、卓球バレー、フォークダンス、調理等のプログラムを継続。臨床美術、卓球バレー、フォークダンスは外部講師による技術指導を受け、年度末には作品の展示「なのはな展」も行った。音楽活動も実施しており、ボランテ

ィアのギターの弾き語りに合わせて歌ったり楽器を演奏するなどの時間を持つことができた。

エ　意思決定支援と地域連携

外出先の選定プロセスへの関与やプレゼン機会を設けるなど、利用者の自己決定を尊重した。加茂川・旭丘中学校とのオンライン交流会や、地域の地蔵盆への参加も引き続き実施した。

オ　環境調整と構造化

デイルームのレイアウト変更により見通しを改善し、支援のコンサルテーションを経て、利用者の行うメニュー表形式の活動選択ツールの導入など、視覚支援を一歩前進させた。

カ　身体状況の変化への対応

京都市地域リハビリテーション推進センターの助言を受け、利用者の可動域維持、向上のための階段昇降訓練や車いす上での安全なスクワット訓練に取り組んだ。

③　ＤＸの推進

スマートフォンの活用や支援記録のリアルタイム入力、事務効率化ソフトの導入については、スマートフォンの購入と一部職員への貸与は達成、支援記録ソフトの導入は次年度当初に延期となり、具体的な運用開始や成果を得るには至らなかった。次年度の最重要課題とする。LINE ワークスを活用した職員間のコミュニケーション、事務連絡等の迅速な共有は継続して行っている。トランシーバーアプリの活用は一部職員で試験運用に至った。

④　特定相談支援事業所との連携

年間を通じて特定相談支援事業所と連携し、モニタリングやショートステイの利用調整を適切に行い、個別支援計画への反映を図った。

（５）虐待防止・身体拘束適正化

年 2 回の虐待防止・身体拘束適正化研修を実施するとともに、職員会議の中でも虐待防止について話題提供を行った。

（６）情報

法人ホームページの更新や「授産所だより」の発行により、活動状況を発信した。また、店舗での展示・販売「なのはな展」を通じ、創造的活動の成果を広く公開した。

（７）育成

①　実習生やボランティアの受け入れ

同志社大学等大学や専門学校から社会福祉士、教員免許（介護等体験）実習生を積極的に受け入れ、学生の学びの機会を提供した。

実習受入人数

社会福祉士：16 名

介護等体験：16 名

②　職員育成

研修：虐待防止研修、2 年目研修、自閉症支援講習等に参加し、職員の専門性向上を図った。

主な受講研修　…　虐待防止・身体拘束適正化研修（2回実施）、新規採用職員研修（新規採用職員受講）、2年目研修（採用後2年目職員受講）、京都府強度行動障害者支援者養成研修（実践研修）、自閉症の基礎知識とケース検討（3回実施）、社会福祉士実習指導者研修、主任級以上管理職研修、サービス管理責任者更新研修

③　リスクマネジメント

毎月の職員会議でリスクについての項目を挙げ、インシデントレポート、アクシデントレポートの共有、課題対策について議論している

インシデントレポート　…　87件

アクシデントレポート　…　3件（転倒、薬の誤配、見失い）

（8）地域との交流・連携の状況

国際ソロプチミストバザー、山科アスニー、桂坂オータムフェスタ等各所に出店。また、近隣中学校育成学級との交流会を継続し、地域社会への理解促進に努めた。

京都市北図書館による「読み聞かせ」の時間を依頼し、年度の後半からデイルームにて実施した。

京都市生活介護等事業連絡協議会、京都市身体障害者福祉施設長協議会等に継続加盟し、各組織と事業種別ごとの課題、制度情報の共有、京都市との懇談会等の活動を行った。

地域のまちづくりチーム北大路テラスネットワークへも参画し、地域の企業や住民と協同でイベントを企画（落語会、新春餅つき大会）、定例会等で参画者同士顔の見える関係を維持した（紫野授産所は同ネットワーク副会長を拝命している）。

（9）施設設備の状況

電子レンジは引き続き使用が可能と判断し、買い替えは見送っている。インターネット設備は機器の入れ替えを行い、ＬＡＮ環境とインターネット環境を併用できるようにした。これにより、利用者等の持ち込み機器によるインターネット利用（iPadによるYouTube視聴など）が可能となっている。

２．就労継続支援Ｂ型事業「さくさく工房」

（1）総括

令和7年度は「共生をめざす創造的実践」をモットーに、利用者が自信と誇りを持って社会生活を営めるよう、生産活動の充実と地域交流の促進に取り組んだ。店舗及び前庭の改修を経て、地域に開かれた事業所としての機能を強化し、多くの市民が立ち寄る場となった。また、原材料費高騰への対応として製品の値上げや新規受注の開拓を行い、工賃向上に向けた基盤を整備した一年であった。

（2）職員体制（令和7年度末現在）

所長1名（生活介護事業兼務）、サービス管理責任者1名（所長兼務）、職業指導員3名、生活支援員1名、目標工賃達成指導員1名の体制で運営した。

（３）利用者の状況（令和７年度末現在）

定員 14 名に対し、年度を通じて概ね安定した稼働を維持した（目標 90%に対して平均稼働率 94.1%）。年度当初に新規利用者２名を迎え、個々の障害特性に応じた作業環境の提供や、社会人としてのマナー習得に向けた支援を継続的に実施した。

①　在籍人数

定員　14 名　　現員　16 名（年度内契約者２名、解約者０名）

１日の平均利用人数　13.2 人（開所日 242 日　利用延べ人数 3191 人）

②　年齢別人数　　平均年齢 44.3 歳

	20 未満	30 未満	40 未満	50 未満	60 未満	60 以上	計
男性	0	2	0	0	3	2	7
女性	2	2	2	2	0	1	9
計	2	4	2	2	3	3	16

③　障害状況

	１級	２級	３級	４級	５級	６級	無	計
身体障害者手帳	4	4	0	2	1	0	5	16

④　障害年金の状況

等級	１級	２級	無・不明	合計
障害基礎年金	6	3	7	16

⑤　その他障害状況

等級	１級	２級	３級	合計
精神福祉手帳	0	0	0	0
療育手帳	A	B		合計
	8	2		10

⑥　居住区別人数

北	上京	左京	下京	計
6	7	2	1	16

（４）重点方針及び事業内容　取組結果

①　就労継続Ｂ型事業の充実

ア　作業提供と技術継承

製菓作業ではベテラン利用者から若手利用者へ、掃除や計量、型抜き等の技術継承が行われた。また、店舗接客やレジ操作など、利用者の習熟度に応じた職域の拡大を支援した。

イ　障害特性に応じた作業環境の整備

聴覚過敏や対人不安のある利用者に対し、相談室での個別作業スペースの確保や、視覚的スケジュール提示による見通しの保持を行った。また、PECS を用いた意思決定支援を継続し、事業所外でも活用できるようヘルパー等と連携を深めた。

ウ　事業継続計画（BCP）の適宜見直しと衛生管理

洗面台や番重の頻繁な清掃をルーチン化し、清潔な環境を維持した。また、シェイクアウト訓練や購入した可搬式エアコンや発電機、ポータブル電源を用いて福祉避難所開設訓練を実施し、非常時の対応力を強化した。

エ　生産効率向上と工賃の向上

原材料費高騰に伴う焼菓子の価格改定を実施した。下請作業においては、内職の受注増に加え、作業の新規契約を締結し、生産量の拡大と資材置き場の効率化を図った。

工賃については、期末賞与を総額60万円以上支給することができたが、工賃総額は昨年度比77%にとどまった。平均月額工賃は、14,660円であった。作業収入は前年度比97.6%であったにもかかわらず、工賃への反映が厳しかったのは、材料費等のコストが前年度比で6.1%増加していることが大きな原因と考えられる。

年　度	年度工賃総額	平均月額工賃総額	個人最高年額	作業収入
令和5年度	3,208,610円	267,384円	465,490円	7,770,516円
令和6年度	2,997,480円	249,790円	371,800円	7,177,430円
令和7年度	2,322,150円	193,513円	265,480円	7,005,729円

オ　店舗及び前庭の活用

改修した前庭を「すいーとひろば」と命名し、地域園児とのサツマイモ栽培や、外部カフェ・吹奏楽部とのコラボレーションイベントを実施した。授乳室の利用者も定着し、地域住民が気軽に立ち寄れる環境を実現した。

カ　食の安全と品質管理

商品の数量ミスやシーラー漏れを防ぐため、チェック工程の二重化及びマニュアル化を徹底し、品質保持に努めた。

キ　ブランド力の向上と店づくり

新大宮商店街等の地域イベントへの積極的な出店や、同志社小学校とのコラボクッキー缶制作、北区役所「こんにちは赤ちゃん事業」のトートバッグ制作等を通じて、「さくさく工房」の周知を図った。

ク　社会人意識の醸成と支援ツールの活用

働く上でのマナーやルールについて、漫画やイラストを用いた視覚的な支援ツールを作成し、繰り返し伝えることで定着を支援した。

ケ　就労に向けた支援とステップアップ

就労継続支援Ａ型事業所への移行を希望する利用者に対し、見学や体験実習の機会を設け、希望の整理と関係機関との調整を行った。

②　デジタルトランスフォーメーション（ＤＸ）の推進

ア　リアルタイム入力環境の整備（達成）スマートフォンによる支援記録の入力環境を整え、情報の即時共有を目指したが、機器の導入や業者と交渉に思いのほか時間を要し、導入は年度替わりに延期された。

資料作成等に積極的にＡＩを活用してたたき台を作成し、文書作成の効率化を図った。

イ　職員間コミュニケーションの円滑化

LINE WORKS、ラジャー（インカムアプリ）等のアプリケーションを導入し、迅速な連絡体制を構築した。

※生活介護参照

ウ　事務手続きの簡素化

利用者勤怠管理ソフトウェアの試行を行ったが、運用上の課題から継続導入には至らなかった。しかし、デジタル化による効率化の必要性は職員間で共有されており、今後の課題として継続検討する。

③　特定相談支援事業所との連携

各相談支援事業所と連携し、定期的なモニタリング訪問を受け入れた。個々のニーズに応じたサービス等利用計画の作成や、生活介護「菜の花」との併用支援など、多機能型の特性を活かした柔軟な支援体制を維持した。

④　地域における公益的取組

車椅子の貸し出し（利用実績なし）、地蔵盆への場所提供、子ども食堂への焼菓子提供などを継続実施し、地域社会への貢献を果たした。

新たな取組として、前庭の花壇を近隣の保育園児に貸し出し、生花店の協力も得てさつまいもを育てる活動が実現した。

（５）虐待防止取組の推進

虐待防止委員会及び身体拘束適正化委員会を定期開催し、内部研修やケース検討を通じて職員の意識向上を図った。特定のケースについては関係者会議を重ね、本人及び家族の意向を尊重した人権擁護に努めた。

（６）情報

法人ホームページやSNS（インスタグラム等）を適宜更新し、即時性のある情報発信を行った。機関紙「授産所だより」の発行や、リニューアルした店舗内での他部署制作の雑貨コーナーの充実を通じて、事業活動の透明性を高めた。

インスタグラムでは閲覧回数が2000回を超える動画投稿など、多くの市民に情報発信を継続している。

（７）育成

実習生やボランティアの受け入れを積極的に行い、次世代の福祉人材育成に寄与した。職員は階層別研修や専門研修に参加し、自己研鑽と専門性の向上を図った

※生活介護参照

（８）地域との交流・連携の状況

毎年店舗の周年祭として開催している「さくさく市」や、北大路テラスネットワーク等の地域団体への参画を通じて、紫野地域及び北区の活性化に努めた。佛教大学の授業内での学生と利用者の交流など、外部機関とのネットワーク構築も進んだ。

（９）施設設備の状況（修繕、備品等購入含む）

店舗前庭の舗装（コンクリート打設によるバリアフリー化）や職員へのスマートフォン貸与を実施した。また、老朽化した洗濯機を買い替え、利用者の福利厚生として電子レンジを作業室に設置した。

店舗リニューアル後の前庭の防犯性を高めるため、既設防犯カメラの増設を実施した。これにより店舗前庭の警戒を行い、市民が安心して前庭で過ごせるようにした。

福祉避難所として京都市の補助金を元手に、発電機・ポータブル電源・可搬式エアコンを配備した。

３．京都市北合同福祉センター

（１）維持管理　取組結果

①　京都市北合同福祉センター設備点検の実施

消防設備点検及び所轄消防署への報告、エレベーター定期点検、受水槽定期点検及び清掃、水質検査、電気設備の定期的な点検、自動ドアの定期的な点検、業者等と綿密な連携をしながら滞りなく実施している。

②　清潔な建物管理の実施

毎日の清掃により衛生的な環境を整えた。定期清掃は、年度に４回実施。

③　施設の防犯

警備会社と連携し防犯を維持している。

（２）各館及び地域との交流・連携　取組結果

①　館長会の実施

ア　共同防火管理協議会、各館の近況報告、維持管理についての報告、情報の共有を行った。

イ　年２回合同避難訓練を実施している。北消防署大徳寺出張所の指導のもと、実際に火災が発生したことを想定した、館内の利用者も含めた避難訓練を行い、火災に備えた。

②　交流事業の開催

図書館と授産所が連携し、出前の読み聞かせを実施した（生活介護参照）。

店舗を活用し、図書館事業として弾き語りと読み聞かせのアフタヌーン企画を実施した（近隣のコーヒーショップも出店）

2025年度「京都市紫野障害者授産所」利用者満足度調査

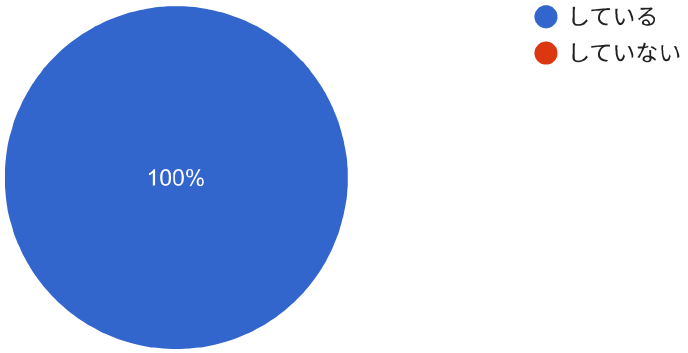
16 件の回答

分析を公開

職員は、きちんと挨拶（あいさつ）していますか？

グラフをコピー

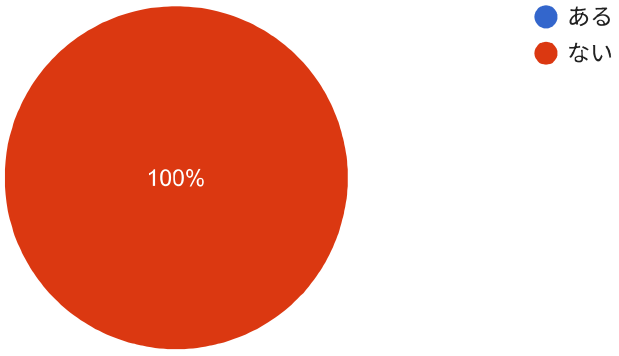
16 件の回答



職員の身だしなみで清潔感がないなど嫌な思いをしたことがありますか？

グラフをコピー

16 件の回答



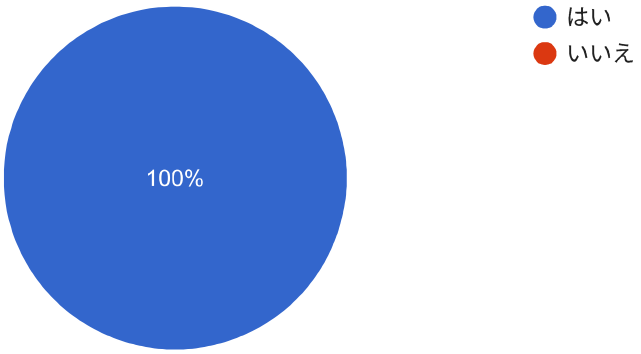
「ある」をお答えになった方にお聞きします。「嫌な思いをされたのは、どんな時ですか？具体的にあれば下記記入欄にお願いします。」

0 件の回答

この質問にはまだ回答がありません。

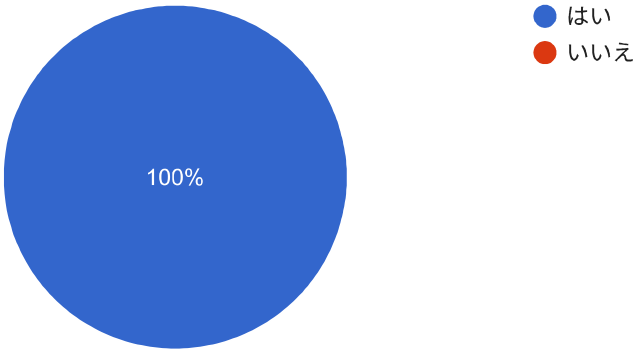
職員は日常的に声をかけたり、話しかけたりしていますか？ グラフをコピー

16 件の回答



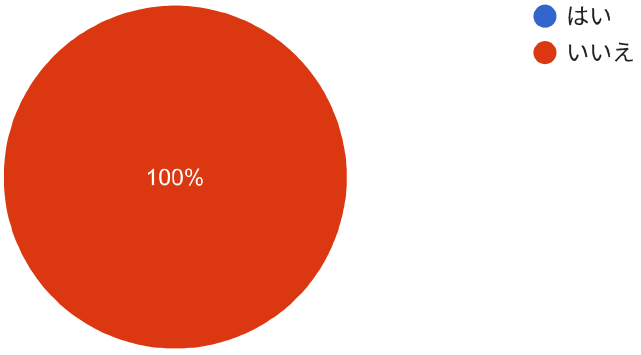
職員（所長含む）は話を聞いてほしいときに相談に応じてくれますか？ グラフをコピー

16 件の回答



あなたは、職員から「叩く・つねる」などの体罰を受けたことがありますか？ グラフをコピー

16 件の回答



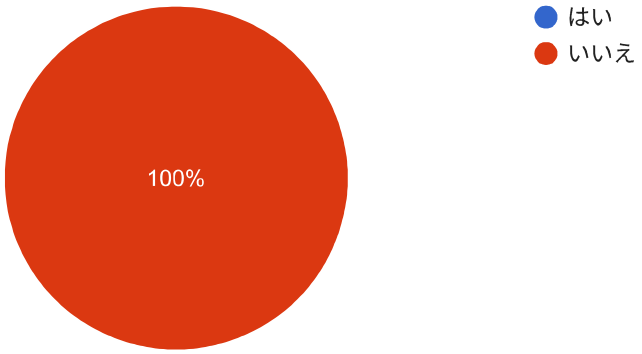
「ある」とお答えになった方にお聞きします。具体的にどういったことを受けましたか？

0 件の回答

この質問にはまだ回答がありません。

あなたは、職員に無視をされたことがありますか？ グラフをコピー

15 件の回答



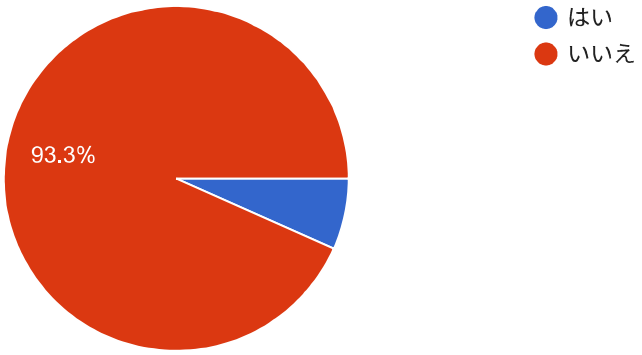
「ある」とお答えになった方にお聞きします。具体的にどういった場面でしたか？

0 件の回答

この質問にはまだ回答がありません。

あなたは、職員に対し「不公平」だと感じたことがありますか？ グラフをコピー

15 件の回答



「はい」とお答えになった方にお聞きします。具体的にどういった内容ですか？

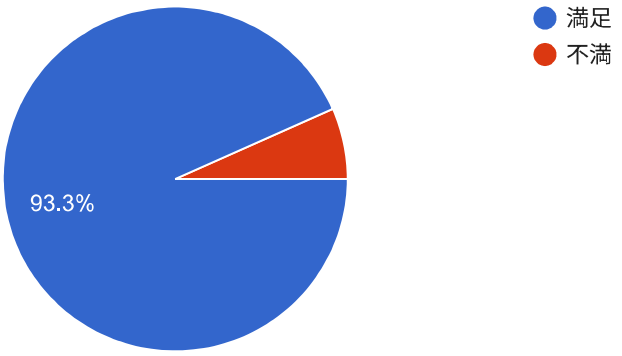
0 件の回答

この質問にはまだ回答がありません。

あなたの利用している施設設備環境（トイレ、食堂、活動場所）に　満足していますか？

グラフをコピー

15 件の回答



「不満」だとお答えになった方にお聞きします。具体的にどの設備が不満ですか？

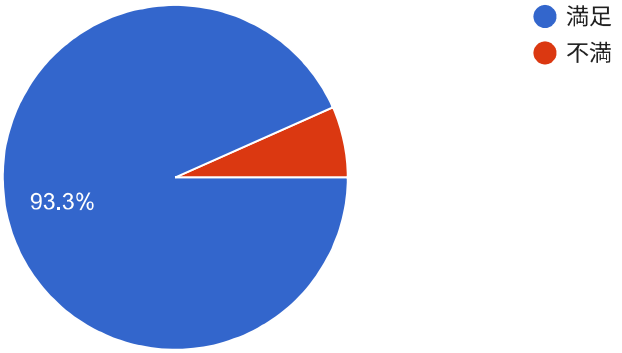
1 件の回答

臭いが気になる

あなたは授産所での日中活動（さくさく工房もしくは菜の花での活動）について満足していますか？

グラフをコピー

15 件の回答



「不満」だとお答えになった方にお聞きします。具体的にどのようなことが不満ですか？

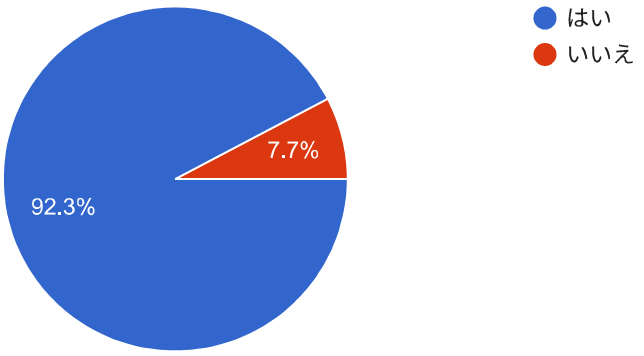
1 件の回答

作業内容

ご家族の皆様へ質問します。職員は、授産所を利用されているご本人の様子を伝えていますか？

グラフをコピー

13 件の回答



授産所に対しご意見があれば何でもお聞かせください。（自由記述）

6 件の回答

授産所でのニコニコと嬉しそうにしている様子を見て感謝しております　ありがとうございます

機嫌良く通っていることが嬉しいです。カリキュラムも実生活に役立ち、いろいろな社会生活につながっていると思います。職員の皆様も優しく接していただきありがとうございます。

毎日喜んで通所させて頂いてます。毎日行ける所があるのは本当にありがたいです。

大変お世話になり感謝しています。ありがとうございます。

満足しています。

日頃は大変お世話になり誠にありがとうございます。新しくリニューアルされた工房は、前庭の部分もとても可愛く、ちょっと立寄ってみたくなる様な、とても素敵でこんな明るい場所で働ける幸せを、伺わせていただく度に感じております。がお世話になっている本人からは、残念ながら何も聞くことは出来ませんが、この様な施設で職員の皆様方に優しく見守られながら働ける喜びを感じていると思っています。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 - フォームのオーナーに問い合わせる - 利用規約 - プライバシー ポリシー

このフォームが不審だと思われる場合 報告

Google フォーム

第一号第四様式

京都市紫野障害者授産所区分　資金収支計算書

（自）2025年 4月 1日（至）2026年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会　　（単位：円）

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)－(B)
事業収入	就労支援事業収入	[6,940,000]	[7,005,729]	[△ 65,729]
	製菓事業収入	(6,140,000)	(5,938,796)	(141,204)
	製菓事業収入（課税）	5,510,000	5,304,862	305,138
	製菓事業収入（不課税）	230,000	433,934	△ 163,934
	下請事業収入（授産所）	(800,000)	(1,006,933)	(△ 206,933)
	下請事業収入（授産所）（課税）	790,000	1,006,933	△ 216,933
	下請事業収入（授産所）（不課税）	10,000	0	10,000
	障害福祉サービス等事業収入	[70,360,000]	[66,455,356]	[3,904,644]
	自立支援給付費収入	(61,190,000)	(57,472,609)	(3,717,391)
	介護給付費収入	28,820,000	26,603,871	2,216,129
	訓練等給付費収入	32,310,000	30,868,738	1,441,262
	計画相談支援給付費収入	60,000	0	60,000
	その他の事業収入	(9,170,000)	(8,982,747)	(187,253)
	補助金事業収入（公費）不課税	830,000	1,000,443	△ 170,443
	受託事業収入（公費）課税	8,270,000	7,944,874	325,126
	その他の事業収入（課税）	60,000	37,430	22,570
	その他の事業収入（不課税）	10,000	0	10,000
	経常経費寄附金収入	[10,000]	[200,000]	[△ 190,000]
	受取利息配当金収入	[10,000]	[15,404]	[△ 5,404]
	その他の収入	[1,420,000]	[1,712,675]	[△ 292,675]
	受入研修費収入	260,000	448,000	△ 188,000
	雑収入	(1,160,000)	(1,264,675)	(△ 104,675)
	雑収入（課税）	1,050,000	1,155,855	△ 105,855
	雑収入（不課税）	110,000	108,820	1,180
	事業活動収入計(1)	78,740,000	75,389,164	3,350,836
事業支出	人件費支出	[42,060,000]	[46,748,454]	[2,311,546]
	職員給料支出	(24,020,000)	(23,093,313)	(926,687)
	職員給料支出（課税）	610,000	570,860	39,140
	職員給料支出（不課税）	23,410,000	22,522,453	887,547
	職員賞与支出	7,220,000	7,773,728	△ 553,728
	非常勤職員給与支出	(10,120,000)	(8,925,165)	(1,194,835)
	非常勤職員給与（課税）	390,000	332,288	57,712
	非常勤職員給与（不課税）	9,730,000	8,592,877	1,137,123
	退職給付支出	740,000	774,243	△ 34,243
	法定福利費支出	6,960,000	6,182,005	777,995
	事業費支出	[7,470,000]	[5,587,230]	[1,882,770]
	保健衛生費支出	160,000	52,493	107,507
	被服費支出	100,000	0	100,000
	教養娯楽費支出	240,000	86,132	153,868
	本人支給金支出	80,000	51,100	28,900
	水道光熱費支出	(950,000)	(926,402)	(23,598)
	電気料	870,000	825,367	44,633

第一号第四様式

京都市紫野障害者授産所区分　資金収支計算書

（自）2025年 4月 1日（至）2026年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会　　（単位：円）

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)－(B)
活動による収支 支出	ガス料	40,000	38,391	1,609
	上下水道料	40,000	62,644	△ 22,644
	燃料費支出	0	1,485	△ 1,485
	消耗器具備品費支出	2,280,000	2,206,586	73,414
	保険料支出	250,000	183,695	66,305
	賃借料支出	2,350,000	1,473,961	876,039
	教育指導費支出	510,000	186,043	323,957
	車輌費支出	(470,000)	(377,533)	(92,467)
	燃料油脂費	470,000	377,535	92,467
	交通費	0	300	△ 300
	雑支出	(80,000)	(41,500)	(38,500)
	雑支出（課税）	30,000	16,500	13,500
	雑支出（非課税）	10,000	0	10,000
	雑支出（不課税）	40,000	25,000	15,000
	事務費支出	[12,740,000]	[10,405,652]	[2,334,348]
	福利厚生費支出	(340,000)	(195,214)	(144,786)
	福利厚生費（課税）	280,000	146,631	133,369
	福利厚生費（不課税）	60,000	48,583	11,417
	旅費交通費支出	100,000	33,394	66,606
	研修研究費支出	360,000	91,126	268,874
	事務消耗品費支出	230,000	592,174	△ 362,174
	印刷製本費支出	510,000	272,012	237,988
	水道光熱費支出	580,000	541,739	38,261
	修繕費支出	440,000	193,743	246,257
	通信運搬費支出	700,000	326,215	373,785
	会議費支出	30,000	421	29,579
	広報費支出	30,000	18,700	11,300
	業務委託費支出	7,480,000	6,470,956	1,009,044
	手数料支出	90,000	130,133	△ 40,133
	賃借料支出	70,000	56,551	13,449
	租税公課支出	640,000	513,498	126,502
	保守料支出	1,040,000	900,276	139,724
	諸会費支出	(90,000)	(69,500)	(20,500)
	諸会費支出（非課税）	0	10,000	△ 10,000
	諸会費支出（不課税）	90,000	59,500	30,500
	雑支出	(10,000)	(0)	(10,000)
	雑支出（課税）	5,000	0	5,000
	雑支出（不課税）	5,000	0	5,000
	就労支援事業支出	6,940,000	6,619,537	320,463
	就労支援事業販売原価支出	5,440,000	5,562,423	△ 122,423
	就労支援事業製造原価支出	5,440,000	5,562,423	△ 122,423
	就労支援事業販管費支出	1,500,000	1,057,114	442,886

第一号第四様式

京都市紫野障害者授産所区分　資金収支計算書

（自）2025年 4月 1日（至）2026年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会　　（単位：円）

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)－(B)
	支払利息支出	[30,000]	[7,247]	[12,753]
	その他の支出	[1,070,000]	[1,138,506]	[△ 68,506]
	雑支出	1,070,000	1,138,506	△ 68,506
	事業活動支出計(2)	77,300,000	70,506,626	6,793,374
事業活動資金収支差額(3)=(1)－(2)		1,440,000	4,882,538	△ 3,442,538
施設整備等による収支 収入	固定資産売却収入	[0]	[40,480]	[△ 40,480]
	器具及び備品売却収入	0	40,480	△ 40,480
	施設整備等収入計(4)	0	40,480	△ 40,480
施設整備等による収支 支出	固定資産取得支出	[1,020,000]	[784,256]	[235,744]
	構築物取得支出	350,000	259,000	91,000
	器具及び備品取得支出	670,000	525,256	144,744
	ファイナンス・リース債務の返済支出	[90,000]	[84,025]	[5,975]
	施設整備等支出計(5)	1,110,000	868,281	241,719
施設整備等資金収支差額(6)=(4)－(5)		△ 1,110,000	△ 827,801	△ 282,199
その他の活動による収支 収入	積立資産取崩収入	[1,450,000]	[1,450,000]	[0]
	備品等購入積立資産取崩収入	1,450,000	1,450,000	0
	拠点区分間繰入金収入	[6,300,000]	[6,035,000]	[265,000]
	その他の活動による収入	[0]	[7,590]	[△ 7,590]
	その他特別収入	0	7,590	△ 7,590
	その他の活動収入計(7)	7,750,000	7,492,590	257,410
その他の活動による収支 支出	積立資産支出	[0]	[3,000,000]	[△ 3,000,000]
	人件費積立資産支出	0	3,000,000	△ 3,000,000
	拠点区分間繰入金支出	[8,080,000]	[5,620,859]	[2,459,141]
	その他の活動支出計(8)	8,080,000	5,620,859	△ 540,859
その他の活動資金収支差額(9)=(7)－(8)		△ 330,000	△ 1,128,269	798,269
予備費支出(10)		0	――――	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)－(10)		0	2,926,468	△ 2,926,468

前期末支払資金残高(12)	61,429,357	61,429,357	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	61,429,357	64,355,825	△ 2,926,468

第二号第四様式

京都市紫野障害者授産所区分　事業活動計算書

（自）2025年 4月 1日（至）2026年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会　　（単位：円）

	勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)－(B)
サービス活動増減 収益	就労支援事業収益	[7,005,729]	[7,177,430]	[△ 171,701]
	製菓事業収益	(5,998,796)	(6,099,471)	(△ 100,675)
	製菓事業収益（課税）	5,504,862	5,678,783	△ 173,921
	製菓事業収益（不課税）	493,934	420,688	73,246
	下請事業収益（授産所）	(1,006,933)	(1,077,959)	(△ 71,026)
	下請事業収益（授産所）（課税）	1,006,933	1,077,959	△ 71,026
	障害福祉サービス等事業収益	[66,455,356]	[61,710,104]	[4,745,252]
	自立支援給付費収益	(57,472,609)	(52,965,059)	(4,507,550)
	介護給付費収益	26,603,871	25,402,950	1,200,921
	訓練等給付費収益	30,868,738	27,495,457	3,373,281
	計画相談支援給付費収益	0	66,652	△ 66,652
	その他の事業収益	(8,982,747)	(8,745,045)	(237,702)
	補助金事業収益（公費）不課税	1,000,443	405,521	594,922
	受託事業収益（公費）課税	7,944,874	8,274,874	△ 330,000
	その他の事業収益（課税）	37,430	64,650	△ 27,220
	経常経費寄附金収益	[200,000]	[0]	[200,000]
	サービス活動収益計(1)	73,661,085	68,887,534	4,773,551
	人件費	[46,816,454]	[47,720,525]	[△ 904,071]
	職員給料	(23,093,315)	(26,198,369)	(△ 3,105,056)
	職員給料（課税）	570,860	378,340	192,520
	職員給料（不課税）	22,522,455	25,820,029	△ 3,297,576
	職員賞与	5,111,725	5,485,268	△ 373,543
	賞与引当金繰入	2,730,000	2,662,000	68,000
	非常勤職員給与	(8,925,165)	(6,232,664)	(2,692,501)
	非常勤職員給与（課税）	332,288	230,220	102,068
	非常勤職員給与（不課税）	8,592,877	6,002,444	2,590,433
	退職給付費用	774,243	697,116	77,127
	法定福利費	6,182,005	6,445,108	△ 263,103
	事業費	[5,587,230]	[3,642,428]	[1,944,802]
	保健衛生費	52,493	63,625	△ 11,132
	被服費	0	3,630	△ 3,630
	教養娯楽費	86,132	76,919	9,213
	本人支給金	51,100	67,000	△ 15,900
	水道光熱費	(926,402)	(887,647)	(38,755)
	電気料	825,367	805,765	19,602
	ガス料	38,391	39,617	△ 1,226
	上下水道料	62,644	42,265	20,379
	燃料費	1,485	0	1,485
	消耗器具備品費	2,206,586	392,967	1,813,619
	保険料	183,695	211,796	△ 28,101
	賃借料	1,473,961	1,245,136	228,825
	教育指導費	186,043	239,983	△ 53,940

第二号第四様式

京都市紫野障害者授産所区分　事業活動計算書

（自）2025年 4月 1日（至）2026年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会　　（単位：円）

		勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)－(B)
の部	費用	車輌費	(377,533)	(414,060)	(△36,527)
		燃料油脂費	377,533	414,060	△36,527
		交通費	300	250	50
		雑費	(41,500)	(39,415)	(2,085)
		雑費（課税）	16,500	17,415	△915
		雑費（不課税）	25,000	22,000	3,000
		事務費	[10,406,202]	[11,843,424]	[△1,437,222]
		福利厚生費	(195,214)	(332,271)	(△137,057)
		福利厚生費（課税）	146,631	290,211	△143,580
		福利厚生費（不課税）	48,583	42,060	6,523
		旅費交通費	33,394	52,430	△19,036
		研修研究費	91,126	121,587	△30,461
		事務消耗品費	592,174	127,615	464,559
		印刷製本費	272,012	284,477	△12,465
		水道光熱費	541,739	501,033	40,706
		修繕費	193,743	431,161	△237,418
		通信運搬費	326,215	205,610	120,605
		会議費	421	0	421
		広報費	18,700	18,700	0
		業務委託費	6,470,736	7,891,339	△1,420,603
		手数料	130,903	147,109	△16,206
		賃借料	56,551	66,396	△9,845
		租税公課	513,498	678,500	△165,002
		保守料	900,276	899,196	1,080
		諸会費	(69,500)	(86,000)	(△16,500)
		諸会費（非課税）	10,000	0	10,000
		諸会費（不課税）	59,500	86,000	△26,500
		就労支援事業費用	6,673,915	7,311,421	△637,506
		就労支援事業販売原価	5,616,801	5,666,672	△51,229
		期首製商棚卸高	22,310	[34,489]	[△12,179]
		当期就労支援事業製造原価	5,633,121	5,653,393	△20,272
		期末製商棚卸高	[44,630]	[22,310]	[22,320]
		就労支援事業販管費	1,057,114	1,745,849	△688,735
		減価償却費	[1,689,126]	[976,274]	[712,852]
		国庫補助金等特別積立金取崩額	[△36,902]	△3,215	[△33,687]
		サービス活動費用計(2)	71,136,025	71,490,857	△354,832
		サービス活動増減差額(3)－(1)－(2)	2,525,060	△2,603,323	5,128,383
サービス収益		受取利息配当金収益	[15,404]	[4,578]	[10,826]
		その他のサービス活動外収益	[1,712,675]	[1,639,633]	[73,042]
		受入研修費収益	448,000	368,600	79,400
		雑収益	(1,264,675)	(1,271,033)	(△6,358)
		雑収益（課税）	1,155,855	1,270,903	△115,048

第二号第四様式

京都市紫野障害者授産所区分　事業活動計算書

（自）2025年 4月 1日（至）2026年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会　　（単位：円）

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)－(B)
活動外増減の部		雑収益（不課税）	108,820	130	108,690
		サービス活動外収益計(4)	1,728,079	1,644,211	83,868
	費用	支払利息	[7,247]	[7,064]	[183]
		その他のサービス活動外費用	[1,137,956]	[1,269,781]	[△ 131,825]
		雑損失	1,137,956	1,269,781	△ 131,825
		サービス活動外費用計(5)	1,145,203	1,276,845	△ 131,642
		サービス活動外増減差額(6)－(4)－(5)	582,876	367,366	215,510
経常増減差額(7)＝(3)＋(6)			3,107,936	△ 2,235,957	5,343,893
特別増減の部	収益	固定資産売却益	[0]	[99,999]	[△ 99,999]
		車輌運搬具売却益	0	99,999	△ 99,999
		拠点区分間繰入金収益	[6,035,000]	[6,920,000]	[△ 885,000]
		その他の特別収益	[7,590]	[0]	[7,590]
		特別収益計(8)	6,042,590	7,019,999	△ 977,409
	費用	固定資産売却損・処分損	[0]	[1]	[△ 1]
		建物売却損・処分損	0	1	△ 1
		国庫補助金等特別積立金積立額	[314,496]	[144,000]	170,496
		拠点区分間繰入金費用	[5,620,859]	[6,790,030]	[△ 1,169,141]
		特別費用計(9)	5,935,355	6,934,031	△ 998,645
		特別増減差額(10)＝(8)－(9)	107,235	85,998	21,237
当期活動増減差額(11)＝(7)＋(10)			3,215,171	△ 2,149,959	5,365,130
前期繰越活動増減差額(12)			71,625,311	65,025,270	6,600,041
繰越活動増減差額の部	当期末繰越活動増減差額(13)－(11)＋(12)		74,840,482	62,875,311	11,965,171
	基本金取崩額(14)		[0]	[0]	[0]
	その他の積立金取崩額(15)		[1,450,000]	[8,750,000]	[△ 7,300,000]
	人件費積立金取崩額		0	1,200,000	△ 1,200,000
	修繕積立金取崩額		0	6,220,000	△ 6,220,000
	備品等購入積立金取崩額		1,450,000	1,130,000	320,000
	工賃変動積立金取崩額		0	200,000	△ 200,000
	その他の積立金積立額(16)		[3,000,000]	[0]	[3,000,000]
	人件費積立金積立額		3,000,000	0	3,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)＝(13)＋(14)＋(15)－(16)		73,290,482	71,625,311	1,665,171

第三号第四様式

京都市紫野障害者授産所区分　貸借対照表

2026年 3月21日現在

社会福祉法人京都総合福祉協会

（単位：円）

資産の部					負債の部				
勘定科目	当年度末	前年度末		増減	勘定科目	当年度末	前年度末		増減
流動資産	69,868,824	70,547,120	△	678,296	流動負債	7,917,090	11,399,476	△	3,482,386
現金預金	10,351,151	6,237,695		4,113,455	事業未払金	4,546,104	8,287,166	△	3,641,062
事業未収金	13,339,531	13,054,554		284,977	その他の未払金	55,772	61,709	△	5,937
未収補助金	489,584	144,000		345,584	1年以内返済予定リース債務	84,339	84,339		0
商品・製品	44,630	22,310		22,320	未払費用	379,000	276,000		103,000
原材料	365,318	442,016	△	76,698	預り金	4,162	1,320		2,842
立替金	1,750,621	1,118,700		631,921	職員預り金	0	7,590	△	7,590
拠点区分間貸付金	43,505,837	49,527,844	△	6,022,007	前受金	18,018	19,662	△	1,639
仮払金	22,152	0		22,152	賞与引当金	2,730,000	2,662,000		68,000
固定資産	47,977,659	47,372,909		604,660	固定負債	127,590	211,415	△	84,025
その他の固定資産	47,977,659	47,372,909		604,660	リース債務	127,590	211,415	△	84,025
建物	8,317,284	9,167,039	△	649,755	負債の部合計	8,044,480	11,610,891	△	3,566,411
構築物	1,262,282	1,058,076		204,206	純資産の部				
車輌運搬具	2	2		0	国庫補助金等特別積立金	418,381	140,787		277,594
器具及び備品	2,076,272	2,291,048	△	215,776	国庫補助金等特別積立金	418,381	140,787		277,594
有形リース資産	56,863	76,931	△	20,068	その他の積立金	36,093,040	34,543,040		1,550,000
無形リース資産	154,556	218,525	△	63,957	その他の積立金	36,093,040	34,543,040		1,550,000
積立資産	36,093,040	34,543,040		1,550,000	人件費	5,300,000	2,300,000		3,000,000
人件費	5,300,000	2,300,000		3,000,000	修繕	9,780,000	9,780,000		0
修繕	9,780,000	9,780,000		0	備品等購入	10,790,000	12,240,000	△	1,450,000
備品等購入	10,790,000	12,240,000	△	1,450,000	移行時特別	4,100,000	4,100,000		0
移行時特別	4,100,000	4,100,000		0	設備等整備	6,123,040	6,123,040		0
設備等整備	6,123,040	6,123,040		0	次期繰越活動増減差額	73,206,482	71,625,311		1,665,171
長期前払費用	18,250	18,250		0	（うち当期活動増減差額）	3,215,171	△ 2,149,959		5,365,130
					純資産の部合計	109,801,903	106,309,138		3,492,765
資産の部合計	117,846,383	117,920,029	△	73,646	負債及び純資産の部合計	117,846,383	117,920,029	△	73,646

別紙2

計算書類に対する注記（京都市紫野障害者授産所）

1．重要な会計方針

(1)棚卸資産の評価基準及び評価方法

・棚卸資産の評価方法は、最終仕入原価法による原価法によっている。

(2)固定資産の減価償却の方法

◇有形固定資産　：　定額法による減価償却を実施する。

・平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産については残存価額を取得価額の10%として償却を行い、耐用年数到来後も使用する場合には備忘価額(1円）まで償却する。

・平成19年4月1日以降に取得したものについては、減価償却累計額が当該資産の取得価額から備忘価額（1円）を控除した金額に達するまで償却する。

◇無形固定資産　：　定額法による減価償却を実施する。

・残存価額は0円とし、償却累計額が当該資産の取得価額に達するまで償却する。

◇リース資産

・ファイナンス・リース取引　：　所有権移転外ファイナンスリース取引に係るリース資産　リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。ただし、重要性が乏しいものについては賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっている。

(3)引当金の計上基準

◇賞与引当金

・職員に対する賞与の支給に備えるため、当該支給予定額のうち当年度に帰属する期間に相当する金額を賞与引当金に計上している。

・令和8年6月に一時金として支払われる福祉・介護職員等処遇改善加算等支給額の未執行分（令和7年10月から令和8年3月まで）を賞与引当金に計上している。

◇徴収不能引当金

・なし

(4)消費税等の会計処理

・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2．重要な会計方針の変更

該当なし

3．採用する退職給付制度

◇法人独自の退職給付制度

・社会福祉施設職員等退職手当共済法の適用を受けることが出来ない職員に対して支給される額で、年度末における同共済法の定める所により算出し、交付される額に準じて算出した額による

◇京都社会福祉事業企業年金基金の実施する確定給付企業年金制度

◇独立行政法人福祉医療機構の実施する退職給付制度

4．拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

（1）京都市紫野障害者授産所拠点計算書類（会計基準省令第１号第４様式、第２号第４様式、第３号第４様式）

（2）拠点区分事業活動明細書（別紙３⑩）

ア　就労継続支援B型事業

イ　生活介護事業

ウ　京都市北区福祉センター

エ　特定相談支援事業

（3）拠点区分資金収支明細書（別紙３⑩）は省略している。

5．基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
該当なし				

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
合計				

6．基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し
該当なし

7．担保に供している資産
該当なし

8．有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位：円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	13,178,942	4,861,658	8,317,284
構築物	1,325,967	63,685	1,262,282
車両運搬具	2,662,170	2,662,168	2
器具及び備品	8,121,094	6,045,822	2,075,272
有形リース資産	100,343	43,480	56,863
合計	25,288,516	13,576,813	11,711,703

9．債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）
債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位：円）

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
該当なし			
合計			

10．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

（単位：円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
該当なし			
合計			

11．重要な後発事象
該当なし

12．その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし